

第77期 年次報告書

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第77期の事業の概況につきまして、次のとおりご報告申し上げます。



取締役社長

北村 倍章

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大やそれに伴う政府や各地方自治体の要請等に企業としての対応が必要とされる状況が続き、感染症対策と経済活動の両立を目指す中、企業収益は依然厳しさは残りつつ、一部には改善の動きがみられました。個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、雇用情勢は持ち直しており、雇用者数等の動きに底堅さもみられました。一方で世界の景気は、先進国を中心に持ち直しの動きがみられましたが、ウクライナ問題の長期化や資源価格の高騰、サプライチェーンの混乱に加え、欧米では加速するインフレ抑制のための金融引締めの影響による景気不振等、先行きは不透明な状況が続いております。わが国においては、新型コロナウイルス感染症が徐々に収束し経済正常化により景気が持ち直していくことが期待されつつも、ウクライナ情勢の長期化による原油価格をはじめとするエネルギー価格の動向、企業物価指数や消費者物価指数の上昇など、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは一定の需要に応えるべく事業活動を継続し、自動車補修用市場でのシェアの

拡大を図るため、顧客ニーズに沿った環境対応型塗料や高機能性塗料で販路拡大に注力するとともに、大型車両分野や工業用分野などの新規市場開拓や建築用塗料の受注拡大に向け、営業活動を展開いたしました。また、原材料価格や物流コスト上昇分を吸収すべく、あらゆるコスト削減に注力しながら一定部分を販売価格に転嫁し、塗料業界として販売数量が厳しい中、商品を安定供給することで収益確保に繋げてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、76億1百万円（前年同期比7.5%増加）となりました。利益面につきましては、製品の統廃合や総原価低減に取り組み、また、原材料価格や物流コスト等の上昇分の一部を販売価格に転嫁したことにより、営業利益は5億37百万円（前年同期比10.3%増加）、経常利益は6億38百万円（前年同期比8.2%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は4億37百万円（前年同期比8.8%の増加）となりました。

分野別の販売状況は、自動車補修用塗料分野では、主力の低VOCベースコート「アクロベース」やハイソリッドクリヤー「アクセルクリヤー」シリーズで市場占有率の維持を図る

とともに、環境対応への要請が強いユーザーを中心に特化則対応でPRTR法届出対象外の1液ベースコート「ハイアートNext」、特殊ウレタン樹脂をベースとした2液型塗料「ベッドライナービースト」で新規ユーザーの獲得に努めました。併せて、水性1液ベースコート塗料「アクアスDRY」では主力ユーザーへの普及促進を行いました。また、大型車両分野では、トラック荷台床面の木部保護塗料「ウッドプロテクト」、高い防錆効果を発揮する「ハイアートCBエコ防錆コート」で新規市場でのユーザー獲得に注力し、堅調に推移いたしました。さらに、調色作業を標準化・システム化した測色機「彩選短スマート」の販売を促進し、ユーザーの作業効率改善や若年者の技術教育に大きく貢献いたしました。

建築用塗料分野におきましては、主力の「ネオシリカ」シリーズに加え、JISA6021取得の外壁用塗膜防水材料「アロンエラストマー」、抗ウイルス性、抗菌性、抗カビ性、消臭性に優れた内装用光触媒塗料「エアフレッシュ」など、各種用途に特化した製品を展開いたしました。また、タイル床面等滑り止めの「スキッドガード」シリーズでは、高耐久性を実現した無溶剤2液型ウレタン樹脂塗料「スキッドガードTOUGH」、水性1液型アクリルシリコン樹脂塗料「スキッドガードAQUA」の販売促進に取り組みました。

工業用塗料につきましては、ユーザーの環境重視志向を背景に「ハイアートCBエコ」の拡販に注力するとともに、従来の水性塗料と比較して乾燥性・光沢を大幅に向上させた1液型水性アクリル樹脂塗料「アクアシャインGA」において、引き続き個々のユーザーに対応して積極的な個別営業活動に取り組みました。

エアゾール分野におきましても、工業用向けでは、補修用スプレー「エアラッカーエコ」の売上が堅調であったほか、DIY分野では、2液内部混合型エアースプレー「エアーウレタン」、1液カラークリヤー「キャンディーカラー」が堅調に推移しました。

今後の経済の見通しにつきましては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果により緩やかな持ち直しが期待されますが、ウクライナ情勢長期化の影響による原油価格をはじめとするエネルギー価格の動向、世界的な金融引締めによる海外景気の下振れがわが国経済に与える影響が見通せず、先行きは極めて不透明な状況であります。

当社グループを取り巻く状況も予断を許しませんが、原材料価格、エネルギー価格や物流コスト上昇に対処すべく、生産効率化、業務効率化に注力し、商品を安定供給することで収益確保に繋げてまいります。また、新型コロナウイルス感染症が収束し経済が正常化するにつれて当社グループの収益環境も徐々に回復してくるものと考えておりますが、塗料業界におきましては、引き続き企業間競争が激しくなることが予想されます。このような状況の中、当社グループは、「お客様に一番近いメーカーであり続けよう」という経営ビジョンを掲げ、全社員一丸となって業績の向上に邁進いたします。

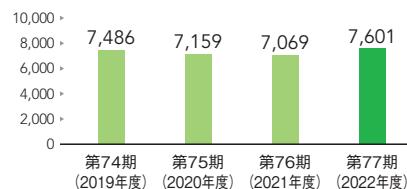
株主の皆様におかれましては、今後ともお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

業績ハイライト

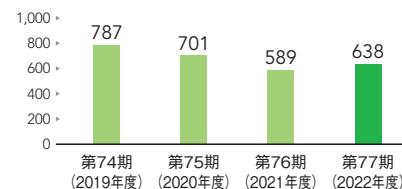
売上高

(単位：百万円)



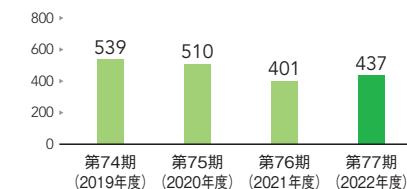
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：千円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|--------------|--------------|--------------|
| | 2023年3月31日現在 | 2022年3月31日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 9,806,141 | 10,376,532 |
| 固定資産 | 10,053,480 | 8,766,603 |
| 有形固定資産 | 2,720,910 | 2,720,962 |
| 無形固定資産 | 27,320 | 33,239 |
| 投資その他の資産 | 7,305,250 | 6,012,402 |
| 資産合計 | 19,859,621 | 19,143,135 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 2,263,223 | 2,026,371 |
| 固定負債 | 1,065,633 | 1,005,369 |
| 負債合計 | 3,328,856 | 3,031,740 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 15,823,411 | 15,481,579 |
| 資本金 | 1,290,400 | 1,290,400 |
| 資本剰余金 | 1,210,742 | 1,210,130 |
| 利益剰余金 | 13,500,993 | 13,159,651 |
| 自己株式 | △ 178,724 | △ 178,602 |
| その他の包括利益累計額 | 309,366 | 242,549 |
| その他有価証券評価差額金 | 309,366 | 242,549 |
| 非支配株主持分 | 397,988 | 387,267 |
| 純資産合計 | 16,530,765 | 16,111,395 |
| 負債純資産合計 | 19,859,621 | 19,143,135 |

連結損益計算書

(単位：千円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|-----------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | 2022年4月 1 日から 2023年3月31日まで | 2021年4月 1 日から 2022年3月31日まで |
| 売上高 | 7,600,668 | 7,068,872 |
| 売上原価 | 5,357,783 | 4,930,584 |
| 売上総利益 | 2,242,885 | 2,138,288 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,705,832 | 1,651,292 |
| 営業利益 | 537,053 | 486,996 |
| 営業外収益 | 107,054 | 111,848 |
| 営業外費用 | 6,269 | 9,616 |
| 経常利益 | 637,838 | 589,228 |
| 特別損失 | 3,705 | 4,455 |
| 税金等調整前当期純利益 | 634,133 | 584,773 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 207,237 | 190,687 |
| 法人税等調整額 | △ 24,725 | △ 22,791 |
| 法人税等合計 | 182,512 | 167,896 |
| 当期純利益 | 451,621 | 416,877 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 14,970 | 15,419 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 436,651 | 401,458 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|-------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | 2022年4月 1 日から 2023年3月31日まで | 2021年4月 1 日から 2022年3月31日まで |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 688,358 | 510,751 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △ 473,757 | △ 254,507 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △ 105,943 | △ 106,903 |
| 現金及び現金同等物の 増減額(△は減少) | 108,658 | 149,341 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 3,332,612 | 3,183,271 |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 3,441,270 | 3,332,612 |

貸借対照表

(単位：千円)

| 科目 | 当期 | 前期 |
|--------------|--------------|--------------|
| | 2023年3月31日現在 | 2022年3月31日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 8,115,675 | 8,517,238 |
| 固定資産 | 9,078,886 | 8,103,796 |
| 有形固定資産 | 2,078,457 | 2,063,873 |
| 無形固定資産 | 26,412 | 32,359 |
| 投資その他の資産 | 6,974,017 | 6,007,564 |
| 資産合計 | 17,194,561 | 16,621,034 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 2,273,753 | 2,032,233 |
| 固定負債 | 851,517 | 810,472 |
| 負債合計 | 3,125,270 | 2,842,705 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 13,856,842 | 13,618,812 |
| 資本金 | 1,290,400 | 1,290,400 |
| 資本剰余金 | 1,209,925 | 1,209,925 |
| 利益剰余金 | 11,535,241 | 11,297,089 |
| 自己株式 | △ 178,724 | △ 178,602 |
| 評価・換算差額等 | 212,449 | 159,517 |
| その他有価証券評価差額金 | 212,449 | 159,517 |
| 純資産合計 | 14,069,291 | 13,778,329 |
| 負債純資産合計 | 17,194,561 | 16,621,034 |

損益計算書

(単位：千円)

| 科目 | 当期 | 前期 |
|--------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 2022年4月1日から 2023年3月31日まで | 2021年4月1日から 2022年3月31日まで |
| 売上高 | 7,148,457 | 6,622,820 |
| 売上原価 | 5,261,540 | 4,834,797 |
| 売上総利益 | 1,886,917 | 1,788,023 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,556,105 | 1,498,033 |
| 営業利益 | 330,812 | 289,990 |
| 営業外収益 | 125,300 | 130,759 |
| 営業外費用 | 6,055 | 9,075 |
| 経常利益 | 450,057 | 411,674 |
| 特別損失 | 670 | 4,455 |
| 税引前当期純利益 | 449,387 | 407,219 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 136,628 | 125,338 |
| 法人税等調整額 | △ 20,702 | △ 20,082 |
| 法人税等合計 | 115,926 | 105,256 |
| 当期純利益 | 333,461 | 301,963 |

チーム美らサンゴ(サンゴ保全活動)への参加

チーム美らサンゴは、地球温暖化による海水温上昇などの原因により激減したサンゴの保全活動を目的に2004年に発足し今年で活動20年目となります。

当社は2010年から参加しており、サンゴの植え付けプログラムや沖縄県内外のイベントを通じて“美ら海を大切に作る心”をより多くの人に広げることを目的に活動しています。今後は、参加当初にも増してSDGsやカーボンニュートラルといった環境保全に取り組むことが企業の社会的責任として求められており、イサム塗料はこれからも美らサンゴ活動に積極的に参加し環境保全に貢献していきます。



地域社会への貢献



(提供：チーム美らサンゴ)

チーム美らサンゴ公式ウェブサイト：<https://www.tyurasango.com/>

健康経営優良法人認定

当社は、2019年4月に社員の健康づくりのために健康経営に取り組むことを宣言する「健康宣言」を行いました。具体的には、生活習慣病の情報提供による社員の健康意識の向上、ストレスチェックの実施とフォロー、メンタルヘルスの社外相談窓口の設置、運動機会の増進を図った「健康チャレンジ」など、全社員が健康で安心して働くことができる組織づくりに取り組んでいます。その結果、2019年に「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」に認定され、2023年まで継続して認定されています。



働く人の健康と働きがいのある職場づくり



会社の概要

(2023年3月31日現在)

| | |
|-------|---|
| 社名 | イサム塗料株式会社 |
| 英文社名 | Isamu Paint Co., Ltd. |
| 設立年月 | 1947年7月 |
| 資本金 | 12億9,040万円 |
| 従業員数 | 196名 |
| 事業内容 | 塗料、塗装用機械器具の製造販売および 塗装工事請負 |
| 本社 | 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲二丁目15番24号 電話 06-6458-0036 |
| 事業所 | 滋賀工場 営業企画部 東京支店 大阪支店 名古屋支店 福岡支店 仙台出張所 札幌駐在所 広島駐在所 |
| 連結子会社 | イサムエアーゾール工業株式会社 明勇色彩株式会社 イサム土地建物株式会社 進勇商事株式会社 |

役員状況

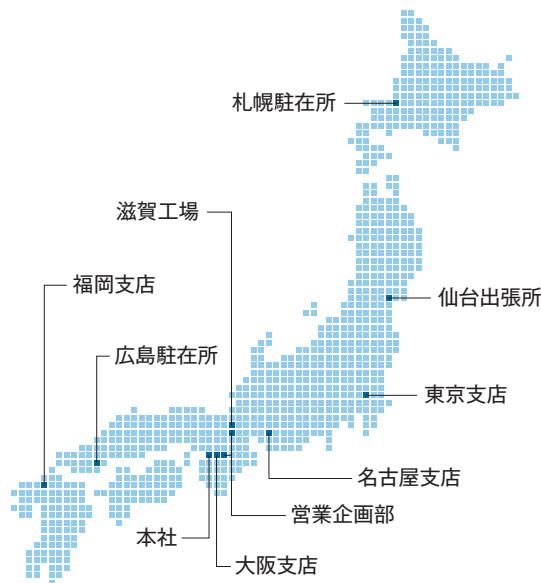
(2023年6月29日現在)

| | |
|--------------|-------|
| 取締役社長 | 北村 倍章 |
| 取締役 | 深田 修也 |
| 取締役 | 山崎 昌之 |
| 取締役(常勤監査等委員) | 横江 喜夫 |
| 社外取締役(監査等委員) | 澤田 直樹 |
| 社外取締役(監査等委員) | 樫元 雄生 |

会計監査人

清稜監査法人

ネットワーク



■ 詳しいIR情報は、ウェブサイトでご覧いただけます。

<https://www.isamu.co.jp>



株式の状況

(2023年3月31日現在)

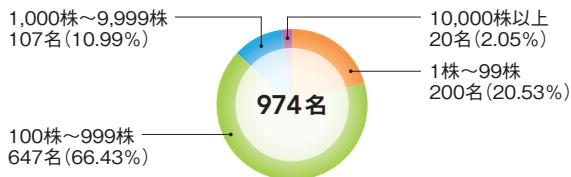
| | |
|----------|---------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 9,600,000株 |
| 発行済株式の総数 | 2,000,000株 (自己株式93,835株を含む。) |
| 株主数 | 974名 |
| 単元株式数 | 100株 |

大株主の状況 (上位10名)

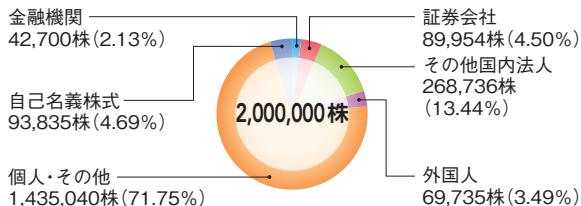
| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-------------|---------|---------|
| 北村初美 | 443 | 23.25 |
| 北村健 | 442 | 23.19 |
| イサム塗料栄勇会 | 242 | 12.70 |
| 株式会社SBI証券 | 87 | 4.60 |
| 第一生命保険株式会社 | 42 | 2.23 |
| 長瀬産業株式会社 | 33 | 1.75 |
| イサム塗料従業員持株会 | 24 | 1.28 |
| 石原産業株式会社 | 24 | 1.25 |
| 株式会社タイセル | 21 | 1.13 |
| 山本通産株式会社 | 17 | 0.94 |

(注) 1. 当社は、自己株式を93,835株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有株式数別株主分布状況



所有者別株式分布状況



株主メモ

| | |
|-----------------------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 6月 |
| 株主確定基準日 | 定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 |
| 公告方法 | 電子公告 https://www.isamu.co.jp/ir/notification |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 郵便物ご送付先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 |
| お問い合わせ先 | ☎0120-094-777 (通話料無料) (受付時間: 土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00) |
| ウェブサイトURL | https://www.tr.mufg.jp/daikou/ |

【ご案内】

- 単元未満株式の買増制度について
単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の株主様は、お手元の単元未満株式を1単元(100株)となるよう買増し請求することができます。
また、単元未満株式について買取り請求することもできます。
- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。